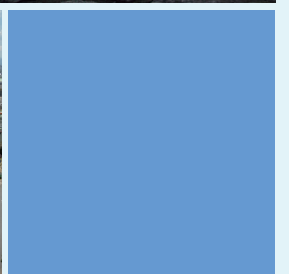
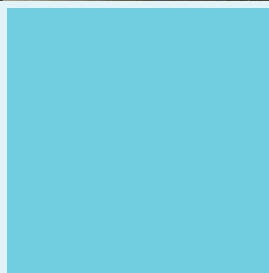
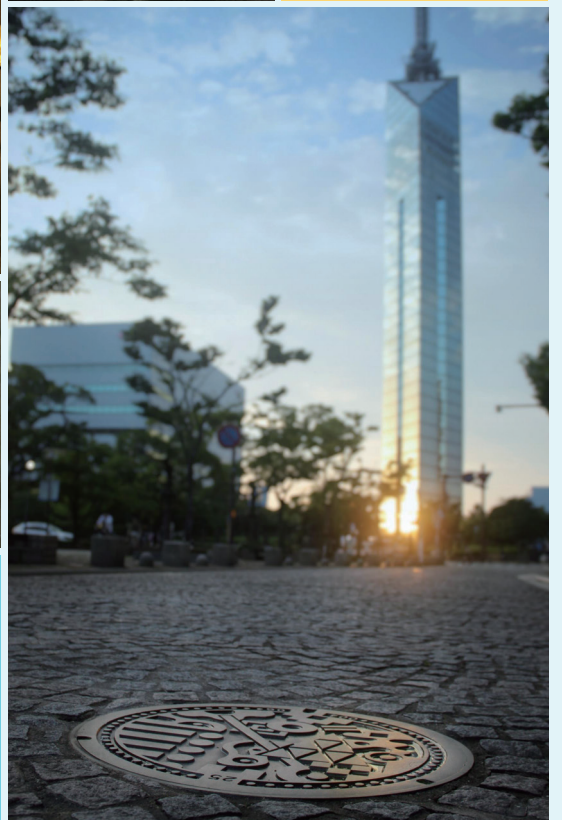
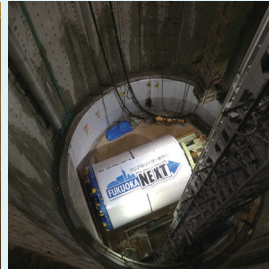


福岡市下水道ビジョン 2026



快適な暮らしを守り、都市の魅力を高め、
未来につなげる下水道

平成29年6月

福岡市 道路下水道局

はじめに



福岡市長 高島 宗一郎

福岡市は「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざし、元気で住みよいまちとして発展を続けています。

この発展を支える福岡市の下水道は、昭和5年から整備に取り組み、現在、下水道人口普及率は99.6%と概成し、私たちの安全・安心で、快適な暮らしを支える重要な社会基盤となっています。

福岡市ではこれまで、下水道整備による生活環境向上の取り組みとともに、過去の甚大な浸水被害の経験を踏まえ、日本で初めて整備水準を実績降雨まで引き上げた浸水対策事業（雨水整備レインボープラン博多）や日本一の供給区域面積・箇所数を誇る下水処理水の再生水供給事業、世界初となる下水バイオガスから水素を製造して燃料電池自動車に供給する水素創エネ技術の実証事業（水素リーダー都市プロジェクト）を行うなど、先進的な再循環の取り組みを積極的に推進してきました。

本ビジョンは、福岡市の下水道事業の基本計画として「快適な暮らしを守り、都市の魅力を高め、未来につなげる下水道」を基本理念に掲げ、目指すべき将来像を描き、それを達成するための今後10年間（平成29年度～平成38年度）で取り組む施策や成果指標をとりまとめています。

これからの下水道は、将来を見据え、施設の老朽化や災害リスクの増大などにも対応した持続可能な運営を行うとともに、新たな時代に向け、下水道の持つポテンシャル（潜在的な力）を活かした循環型社会の構築や国際社会への貢献など、近年下水道に求められる多様な分野での役割にも、産学官と連携を図りながら、積極的に取り組んでいく必要があります。

今後とも、市民や企業の皆さまとともに、着実に取り組んでいきたいと考えておりますので、福岡市における下水道事業への一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成29年6月

目 次

第 1 章 策定の背景と目的

1. 1	背景と目的	1
1. 2	計画の位置づけ（体系）	2
1. 3	計画の対象期間	2

第 2 章 現状と課題

2. 1	福岡市の状況	3
2. 2	下水道を取り巻く社会経済情勢の変化	10
2. 3	国の動き	19
2. 4	福岡市の主要施策	21
2. 5	福岡市下水道の現状と課題	24

第 3 章 長期ビジョン

3. 1	基本理念	48
3. 2	目指すべき将来像	48

第 4 章 中期計画（H29 – H38）

4. 1	施策目標	51
I	持続可能な下水道システムの構築	52
II	災害に強い下水道	61
III	健全な水環境の創出	68
IV	低炭素・循環型社会への貢献	71
V	身近な下水道	76
VI	地域活性化への貢献	80

参考資料

下水道ビジョンの推進体制	参-1
福岡市下水道のあゆみ	参-2
下水道事業の目的	参-13
下水道用語解説	参-15

コラム

コラム 1 福岡市における生活排水処理施設の種類	9
コラム 2 下水道の多様な役割	18
コラム 3 福岡市の特徴	23
コラム 4 「雨水整備レインボープラン博多」の事業効果	27
コラム 5 福岡市の水環境	35
コラム 6 福岡市下水道の経営状況	45
コラム 7 持続可能な下水道システムの構築	53
コラム 8 I o T、I C T等で進化する下水道	57
コラム 9 市民と共働した浸水に強い街づくり	64
コラム 10 平成 28 年熊本地震の支援状況	67
コラム 11 分流化への取組～合流式下水道の改善対策～	70
コラム 12 下水道は資源の宝庫	75
コラム 13 身近な下水道への取組～市民とのふれあい～	79
コラム 14 下水道の国際展開	83